

熊本西高生 力戦奮闘!

西高新聞

題字 宮本 佳織さん(城西中出身 書道部二年)

発行
熊本西高校総務部
第44号



高校総体、総合文化祭では、熊本西高生の活躍が見られました。今年度の総合開会式では、なぎなた部主将春山りんかさん(出水南中)が選手宣誓を行いました。各部ともに、日頃の練習成果を発揮しました。

★【なぎなた部】

団体戦 優勝 春山りんか(出水南中)・松藤真紀子(天明中)
上野百華(江南中)・笹本美弥妃(三和中)
坂本愛(帯山中)・工藤梨梨香(江南中)
鍋島麻衣(蘇陽中)

個人試合 優勝 春山りんか(出水南中) **三連覇!**
個人演技 優勝 春山りんか(出水南中)・松藤真紀子(天明中)
総合 2位 笹本美弥妃(三和中)・坂本 愛(帯山中)

★【ウェイトリフティング部】

学校対抗(団体戦) 優勝

個人戦 1位 56kg級 恵 陸天(江原中)
1位 69kg級 下野純一(江原中)
1位 85kg級 森田 恭平(真和中)
1位 48kg級 松田 穂 (三和中)

★【柔道部】

個人戦 優勝 48kg級 白石 響 (天明中)
2位 48kg級 佐々 夏来(泗水中)
3位 48kg級 高野 麻衣(泗水中)
3位 57kg級 松本 愛海(鹿南中)
2位 63kg級 大津 もも(富合中)
優勝 70kg級 松本 紗季(益城中)
3位 78kg級 渡邊 花胤(泗水中)
2位 78kg超級 田中 里沙(東野中)

★【ラグビー部】優勝

★【陸上部】

県高校総体 入賞多数

南九州大会(6/15~18)

優勝 男子走高跳 大塚 流華(清和中)
2位 男子三段跳 大塚 流華(清和中)
2位 女子やり投 宮下 恵里花(五和中)
2位 男子やり投 村本 晴真(井芹中)
3位 女子走高跳 白石 季里(力合中)
4位 男子砲丸投 井手上 大翔(竜南中)
4位 男子円盤投 八河 航也(出水中)
4位 女子円盤投 井山 百夏葵(三和中)
6位 男子八種競技 森 孝太(不知火中)

★【水泳部】

17名九州大会出場

入場行進



入場行進奨励賞を受賞しました

全校応援



熊本県総合文化祭
地学部、化学部の展示
発表があり、日頃の活
動の成果を発表しまし
た。

★【百人一首かるた部】

学校対抗(団体戦) 優勝

(源平戦) 優勝

個人戦 準優勝 梅田 紗菜(三和中)
3位 岡田梨那(西山中)
5位 佐藤早恵(三和中)



ST川元のLet's enjoy English! season2

洋画を見てリスニング

英語の4技能、「読む」「書く」「話す」「聞く」の中で最も難しいのは「聞く」ことだと言います。なぜなら、他の3つは全て自分のペースでできますが、「聞く」だけは相手（話し手）のペースについていく必要があるからです。しかしながら、日本に住んでいる私たちが英語を「聞く」のは教室だけで、十分とは言えません。ですから子供向け洋画のDVDを借りてきて見ることをお勧めします。子供向けの映画は易しい英語が使われていますので中高生には最適です。今回は「聞く」力をつけるために効果的な映画の見方を一つ紹介します。

計4回見ますが、音声はすべて英語で聞いてくださ

い。1回目は字幕なしで見ます。映像と音声だけで内容をつかむことに努めます2回目は日本語の字幕を入れて見ます。音声は英語を聞きながら、日本語の字幕を見ながら、内容を確認します3回目は英語の字幕を入れて見ます。この段階では映画の内容は頭に入っていますので、英語でなんと言っているかということに集中して字幕を読みながら音声を聞いていきましょう4回目は1回目同様字幕なしで見ます。1回目と比較すると何と言っているかかなり分かるようになってきていると思います。

一本の映画は長いので気に入ったシーンだけでもかまいません。このような勉強法を家庭学習に取り込んでいくとリスニング力だけでなく、リーディング力、表現力にもつながります。英語の勉強も楽しくなりますよ。



あつあつ熱ティー

錦戸真介先生(国語・競技かるた部顧問)と立山雅浩先生(保健体育・陸上部顧問)を紹介します。
〇高校総体・総文祭では大活躍でしたね！

(立山) 県総体男子総合2位、南九州大会男子フィールド優勝、インターハイ出場権獲得者が7名でした。3年生を中心に、大健闘したと思います。その7名のなかで、中学時代陸上部だった生徒は1名だけです。6名は高校から努力して九州トップレベルに到達しています。

(錦戸) 競技かるた(百人一首)の団体戦は5対5で争い、3勝した方が勝ちです。決勝では、県内無敵、14連覇中の鹿本高校と激突しました。生徒たちは絶対王者に気後れすることなく挑み、むしろリードして試合終盤を迎えたものの、地力に勝る相手に追いつかれて2対2となりました。最後はお互いの陣地に1枚ずつ残る「運命戦」にもつれ込みました。そして、自陣の札が読まれた瞬間に15年ぶりの優勝が決まりました。劇的な勝利でした。

〇聞くだけで鳥肌が立ってきますが、強さの秘訣は何ですか？

(立山) 強さというとおこがましいですが、学校では部活動だけでなく、勉強面や生活態度の重要性を日頃から言い聞かせています。大会中も「大会準備」「補助員」「自分の競技」の三本柱を学年・選手を問わず全員で一生懸命取り組むことが熊本西高伝統の力に繋がると信じて指導しています。昨年、一昨年と全国大会で入賞した生徒は、学校生活・人間性ともに劇的な成長をしました。

(錦戸) 実は、決勝直前、リーグ戦でオープン参加していたチームに敗れていたことで、生徒たちは打ちのめされていました。しかし、「そもそも挑戦者なんだから失うものは何もない」「今までやってきたことを信じて楽しもう！」「と話し、開き直りました。「負けたくない！」「近江に行くのは自分たちなんだ！」「という気魄が最後の1枚を自陣に呼び寄せたのだと信じます。忘れてならないのは、足繁く通って指導してくださる先輩方や稽古をつけてくださった方々への感謝の気持ちです。

〇立山先生は3年体育コースの担任、錦戸先生は2学年主任をされていますね。

(立山) 体育コース生は大学進学をして競技継続を志す生徒が多いです。顧問のネットワークも駆使しながら、全力でサポートします。また、警察や消防、自衛隊などの公務員を目指す生徒も増えてきましたし、実績も上がってきていると思います。

(錦戸) 私は熊本西高OBです。学習面・部活動に奮闘している様子や明るい笑顔を見ていると「生徒たちの無限の可能性」を感じます。熱心な担任の先生方をサポートし、「もっとできる！」「まだやれる！」と自分を信じて夢に突き進む生徒を育てていきたいと思っています。

〇最後に指導哲学と今後の目標を教えてください。

(立山) 「生徒一人ひとりに対して誠実に向き合う」ことを心掛けています。今後の目標は、日本一の選手を育てるとともに、西高陸上部を日本一のチームと呼ばれる集団にすることです。

(錦戸) 生徒に向き合うときは、いかなる場合も「誠実」でありたいと願っております。暑苦しいと感じている生徒も多いことでしょう(笑)。自分の子どもや生徒諸君に対して「恥ずかしくない」人間になることを目標にこれからもやっていきたいと考えています。

〇「生徒に対して誠実に・・・」と言うお二人の言葉が最後に重なりました。全国大会での活躍を祈念するとともに、今後も西高生へのご指導をよろしくお願いします。今回のティーチャーお二人にも火傷を負わされました。熱いぜ。



錦戸先生(左)と立山先生(右)

六月は高校総体が行われたので、スポーツをテーマに描きました。

西田 明夏 作(西山中出身 美術部2年)



美術部の作品集

熊本西高等学校体験型オープンスクール

7/31(月)13:30開始！

- ①学校説明・校内見学
- ②体験プログラム
部活動パフォーマンス
授業体験・理数科体験など
- ③部活動見学・体験

多くのご参加をお待ちしています！

☆申込みは、各中学校の先生まで